飲水思源・情誼永傳--日本姐妹校《日本齒科大學新聞》專題報導本校65 週年校慶

秘書室 / 應外系林信甫老師翻譯



2026年（令和8年） 2月1日　日本歯科大学新聞　第701号　(2)

姉妹校 周英香理事長

中山医学大学創立65周年記念

本学卒が創校の原点

創立者は第29回卒の周汝川先生

本学姉妹校である台湾の中山医学大学の創立65周年記念式典が、11月8日に台中市で開催され、本学から代表として菊池憲一郎歯学部長および柳井智恵教授が出席した。

式典は、今年新たに就任した周英香理事長および黄建寧学長の主催により、盛大に執り行われた。

中山医学大学は、創設者である周汝川先生が、本学第29回卒業生であることに端を発し、1960年に中山牙医専科学校として開校した。2001年には中山医学大学へと改称され、現在では、歯学部・医学部を含む4学部20学科と5つの大学院研究所、附属病院を有する医学系総合大学として発展している。

式典では、「感動的」正しさことを貫くと題した創立65周年記念映像が上映され、周汝川先生の肉声による創校精神が紹介された。私財を投じて、学校医師の育成を掲げ、教育と医療の発展に尽力してきた歩みは、参列者に深い感銘を与えた。

周英香理事長（周汝川先生の孫）は式辞の中で、日本歯科大学で学んだ祖父（第29回卒）の経験が大学設立の原点であり、本学との姉妹校関係が極めて重要であると述べ、謝意を表した。

さらに、創設者の精神を受け継ぎ、医療の発展に貢献する決意を示した。

また、中原泉理事長および藤井一維学長からの祝辞が代読され、記念品の贈呈が行われた。続いて、名誉博士号授与式や未来勤続職員表彰など、本学の創立記念式典と共通する次第が進行された。

大学構内には法学部第29回卒校友寄贈の記念碑も建立されており、両校の深い歴史的絆をうかがい知ることができる。

中山医学大学は約5万人の卒業生を輩出し、現在も附属病院の整備を進めながら、高度医療の推進を目指している。姉妹校のさらなる発展と、同校の友好関係が一層深まることが確信される。

（柳井智恵記）

創立30周年記念式典 富士見校舎正面（昭和12年）

懐古フィルム

創立30周年記念

昭和12年頃の早稲田通り 右側が本学入口

式辞を述べる周英香新理事長

理事会役員と並ぶ菊池歯学部長（左から3人目）、柳井教授（左端）

本紙縮刷版63冊目

会告　このたび新会社では、「日本歯科大学新聞」の令和7年（二〇二五）版を縮集発行しました。

これは本紙のユニークな企画として、昭和38年より刊行しており今号で63冊目になります。本紙を週刊誌大に縮小し、第六九五号から七〇〇号までを収録しています。

令和7年の日本歯科大学の活動を報道した全紙面が、そのまま縮小されて、本学の動向と発展の歴史を記録しています。

ご希望の方には、贈呈（無料）しますので、FAXで「氏名・郵便番号・住所」を〇二五三六七二一三四へお申込みください。ただし、部数が限られていますので、先着順にさせていただきます。

日本歯科大学新聞会

歯鏡

▼本学の中原實名誉学長は、歯科医師・学者・画家として知られている。とりわけ彼の前衛美術活動とその多様な作品は、忘れ去られることはない。

昨年秋から府中市美術館での藤田嗣治の菊展に出品された彼の「猫の子」は、その愛らしさから注目をあつめた。

▼昨年来の日本経済新聞の「美の粋」欄に、異例の2週4面にわたって中原の画業が詳解された。

今秋には、美術出版社から「中原實画集」の決定版が出版される。

没後35年にして今や時代は、画家中原實を再評価している。（S／N）

●上圖：中山醫學大學周英香董事長於創校 65 週年校慶大會上致詞。●下圖：日本齒科大學代表與中山醫學大學董事會成員合影。(左三為菊池齒學部長、左一為柳井教授)。

近日，學校收到來自日本姊妹校——「日本齒科大學」的一份珍貴賀禮：在其2026年2月發行的校報中，以顯著篇幅專題報導了本校創立65週年的校慶盛事。這份報導不僅詳述了兩校深厚的歷史淵源，更特別提到創辦人周汝川博士作為日本齒科大學第29屆校友，其「醫者仁心」的辦學初衷即源於當年在日求學的時光。

為感念日本齒科大學這份跨越國界與時代的珍貴情誼，校方已將此刊物正式納入數位典藏，並將其翻譯為中文與全校師生分享。這份報導不僅是對本校過去65年發展的肯定，更是兩校未來持續深化學術交流、共創醫學輝煌的重要見證。

報導全文翻譯

標題：姊妹校周英香董事長出席中山醫學大學創校65週年紀念

副標題：本校校友為創校之原點——創辦人為第29屆畢業生周汝川先生

【本刊訊】

本校姊妹校——台灣中山醫學大學創校65週年校慶大會，11月8日在台中市舉行，本校由齒學部長菊池憲一郎教授及柳井智惠教授代表出席。校慶大會由新上任的周英香董事長及黃建寧校長主辦，場面莊嚴隆重。

中山醫學大學由周汝川先生所創辦，其淵源可追溯至周先生曾就讀本校第29屆之經歷。1960年周先生創設「中山牙醫專科學校」；2001年正式升格為「中山醫學大學」。現在該校已發展為擁有4個學院、20個學系與5個研究所，以及附設醫院的醫學綜合大學。

校慶大會上播放名為「做對的事」的65週年紀念影片，並介紹周汝川先生的創校理念。他傾盡家產致力於培養醫學人才、教育與醫療發展的奮鬥歷程，令與會者深受感動。

中山醫學大學董事長周英香女士（周汝川先生之孫女）在致詞中表示：「祖父在母校日本齒科大學的學習經歷，正是中山醫大創校的原點，這對本校與日本齒科大學的姊妹校關係而言極為重要。」她對此表達由衷的謝意，並承諾將繼承創辦人精神，為醫療發展做出貢獻。

此外，校慶大會中亦宣讀中原泉理事長及藤井一維校長的賀詞，並致贈紀念品，緊接著舉行榮譽博士學位頒授儀式及資深教職員表揚等，大會程序與本校校慶典禮多有相似之處。

中山醫學大學校內設有本校第29屆畢業校友捐贈的紀念碑，記錄著兩校長存至今的深厚情誼。

中山醫學大學擁有約5萬名畢業校友，現在仍積極推動附設醫院的更新，以提供更高度的現代化醫療。相信將來兩校間姊妹校友好關係一定可以更加深化。（報導撰稿：柳井智惠）